

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

日本美術史B

担当教員 北 進一

受講アトリエ 【502】

10月4日(金)～2月7日(金)

9:00-10:30

授業内容

最初に日本絵画の黄金時代とされる桃山時代の絵画、特に狩野永徳と長谷川等伯の絵画などから始まり、俵屋宗達や尾形光琳の琳派絵画など江戸時代の絵画へ展開してゆく過程を探究する。その後、池大雅や与謝野蕪村などの文人画、円谷応挙などの写実派、伊藤若冲などの奇想派や浮世絵師の絵画を取り上げ、江戸絵画の本質を探る。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月4日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
2	10月11日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
3	10月18日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
4	10月25日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
5	11月1日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
6	11月8日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
7	11月15日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
8	11月22日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
9	11月29日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
10	12月6日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
11	12月13日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
12	1月10日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
13	1月17日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
14	1月24日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
15	1月31日	金	○	英会話		実技カリキュラム	
16	2月7日	金	○	英会話		実技カリキュラム	

学習目標

近世以降の日本美術は、中世までの宗教色の濃い美術から脱し、世俗的で鑑賞性の高い美術へ変貌してゆく。本講は、桃山時代の障壁画や江戸絵画などを取り上げ、独自の色彩と形態を追求してゆく有様を見てゆく。日本美術史を従来の様式論でおさえるのではなく、イメージの解読という新たな視点から日本文化史の中に位置づけて探求してみたい。

予習・準備物

注意事項

評価方法

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

視覚文明史

担当教員 太田克彦

受講アトリエ 【502】

10月2日(水)～2月12日(水)

10:40-12:10

授業内容

古代から現代、そして未来までのパースペクティブを、視覚文化という次元から検討する。その分野は文学や演劇、ダンス、ファッションから音楽にまで広げ、それらが美術とどのように関わっているのかを学習する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月2日	水	○	制作		実技カリキュラム	
2	10月9日	水	○	制作		実技カリキュラム	
3	10月16日	水	○	制作		実技カリキュラム	
4	10月23日	水	○	制作		実技カリキュラム	
5	11月6日	水	○	制作		実技カリキュラム	
6	11月13日	水	○	制作		実技カリキュラム	
7	11月20日	水	○	制作		実技カリキュラム	
8	11月27日	水	○	制作		実技カリキュラム	
9	12月4日	水	○	制作		実技カリキュラム	
10	12月11日	水	○	制作		実技カリキュラム	
11	1月8日	水	○	制作		実技カリキュラム	
12	1月15日	水	○	制作		実技カリキュラム	
13	1月22日	水	○	制作		実技カリキュラム	
14	1月29日	水	○	制作		実技カリキュラム	
15	2月5日	水	○	制作		実技カリキュラム	
16	2月12日	水	○	制作		実技カリキュラム	

学習目標

制作上の技術は必須である。しかしそれはあくまでも必要条件。名作と呼ばれている作品には、すべて優れた発想と想像力がある。したがって作品内容をより高めるための発想力を身につける方法を学ぶ。

予習・準備物

注意事項

評価方法

2.3年 ファインアート科版画専攻

版画概論

担当教員 天野純治

受講アトリエ 【402】

5月9日(木)～7月18日(木)

10:40-12:10

授業内容

作品の鑑賞。ポップアート以降の現代美術史及び作品の研究を行い、今に至る美術史を学ぶ。そこから個々の制作に客観性と作品へのコンセプトを考えていく。また、自身の作品についての発表と全員での意見交換を行う。

授業スケジュール/計画

			指導		AM	指導	PM	備考
1	5月9日	木	○	制作	現代版画について1 作品鑑賞		実技カリキュラム	
2	5月23日	木	○	制作	現代版画について2		実技カリキュラム	
3	6月6日	木	○	制作	現代版画について3		実技カリキュラム	
4	6月20日	木	○	制作	現代版画について4 作品鑑賞		実技カリキュラム	
5	7月4日	木	○	制作	現代版画について5 研究発表		実技カリキュラム	
6	7月18日	木	○	制作	現代版画について6 研究発表		実技カリキュラム	

学習目標

作品を制作する時、感覚ともう一つ重要な要素として 作品への思考（コンセプト）があります。この授業ではここに焦点をあて作品鑑賞や現代の美術史を研究することからコンセプトの重要性を考えていきます。そして個々の制作の可能性を拡げることを目標とします。最後に 個々の作品と、その作品に対してのプレゼンテーションを行います。

予習・準備物

各自、日常的に展覧会(画廊、美術館) を多く見ることから客観性を意識し、作品の持つ考え（コンセプト）に対して考察を行う。

注意事項

積極性を持って授業に参加してください。

評価方法

授業での積極性。 自身の作品のプレゼンテーション、および研究発表。

2.3年 ファインアート科絵画造形専攻

絵画概論

担当教員 早見 堯

受講アトリエ 【802】

5月9日(木)～7月18日(木)

10:40-12:10

授業内容

ベラスケスやエッシャー、デュシャンなどを通して絵画が成り立つ仕組みを知り、現代アートを中心にして古今東西の絵画を見ながら、それぞれの絵画がどういうふうになられ、どう見えるのかを一緒に考えていきます。

授業スケジュール/計画

			指導		AM	指導	PM	備考
1	5月9日	木	○	制作	絵画概論1)①授業オリエンテーション②絵画のwhatとhow③鏡のある絵画●アーティスト；ヤン・ヴァン・エイク、カラヴァッジョ他		実技カリキュラム	
2	5月23日	木	○	制作	絵画概論2) テーマ；①再現的な絵画はなにを表しているのか？ ②形はなぜ見えるのか？ アーティスト；ベラスケス、エッシャーほか		実技カリキュラム	
3	6月6日	木	○	制作	絵画概論3)テーマ；絵画成立のベース＝「図と地」から「表面と支持体」へ●アーティスト；ムンク、ゴッホ、モンドリアン、デュシャン他		実技カリキュラム	
4	6月20日	木	○	制作	絵画概論4)テーマ；描写と組みあわせ●アーティスト；マネ、マティス、ダリ、ジャスパー・ジョーンズ、マグリットほか		実技カリキュラム	
5	7月4日	木	○	制作	絵画概論5) テーマ；いままでの絵画はどうだったのか●アーティスト；マチス、ヴィアラ、ポロック、長谷川三郎、岡本太郎ほか		実技カリキュラム	
6	7月18日	木	○	制作	絵画概論6) テーマ；いま絵画はどうなっているのか●アーティスト；リヒター、アンゼルム・キーファー、草間彌生ほか		実技カリキュラム	

学習目標

絵画は支持体や絵具などの物質でできている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心のない物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。

予習・準備物

注意事項

評価方法

全留学生

日本語講座

担当教員 木村恵介・久保田早紀・西形あゆみ

受講アトリエ 【501】

9:00-12:10

授業内容

- 1.美術関係記事についてのディスカッション(60分)
- 2.作品評価練習(60分)
- 3.映像教材を用いた美術用語導入(50分)
- 4.前回導入した美術用語のチェック小テスト(10分)
- 5.課外課題(予習)

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM
1	4月13日	土	○	日本語	○	大学院進学講座・蔣
2	4月20日	土	○	日本語		
3	5月11日	土	○	日本語		
4	5月18日	土	○	日本語	○	大学院進学講座・蔣
5	5月25日	土	○	日本語	○	大学院進学講座・蔣
6	6月8日	土	○	日本語		
7	6月15日	土	○	日本語	○	論文の書き方・高橋
8	6月22日	土	○	日本語	○	論文の書き方・高橋
9	6月29日	土	○	日本語	○	ポートフォリオ講座・上野
10	7月6日	土	○	日本語		
11	7月13日	土	○	日本語	○	大学院進学講座・蔣
12	9月7日	土	○	日本語	○	大学院進学講座・蔣
13	9月14日	土	○	日本語		
14	9月21日	土	○	日本語		
15	9月28日	土	○	日本語	○	大学院進学講座・蔣
16	10月5日	土	○	日本語	○	ポートフォリオ講座・上野 2年生の講評会がある
17	10月12日	土	○	日本語		
18	10月19日	土	○	日本語	○	ポートフォリオ講座・上野
19	10月26日	土	○	日本語	○	論文の書き方・高橋
20	11月2日	土	○	日本語	○	ポートフォリオ講座・上野
21	11月9日	土	○	日本語		

学習目標

日本語の向上を目標として挙げます。

予習・準備物

筆記用具、前回授業で配ったプリント用紙

注意事項

- ・ 予習復習を徹底すること

評価方法

出席日数/授業態度による採点

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

英会話

担当教員 ティム・ウェイレン

受講アトリエ 【501】

4月12日(金)～2月7日(金)

10:40-12:10

授業内容

海外の友達と会話するときや、芸術・デザインの世界の現場で英語を使うときでも、スムーズにコミュニケーションができるように、レッスンはフリートーク、リスニング演習、簡単なテキスト（プリント）の三つの部分に分けられています。リラックスした雰囲気の中で自分の英語力を伸ばしましょう。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月12日	金	○	日本美術史A			
2	4月19日	金	○	日本美術史A			
3	4月26日	金	○	日本美術史A			
4	5月10日	金	○	日本美術史A			
5	5月24日	金	○	日本美術史A			
6	5月31日	金	○	日本美術史A			
7	6月7日	金	○	日本美術史A			
8	6月14日	金	○	日本美術史A			
9	6月21日	金	○	日本美術史A			
10	6月28日	金	○	日本美術史A			
11	7月5日	金	○	日本美術史A			
12	7月12日	金	○	日本美術史A			
13	9月6日	金	○	日本美術史A			
14	9月13日	金	○	日本美術史A			
15	9月20日	金	○	日本美術史A			
16	9月27日	金	○	日本美術史A			
17	10月4日	金	○	日本美術史B			
18	10月11日	金	○	日本美術史B			
19	10月18日	金	○	日本美術史B			
20	10月25日	金	○	日本美術史B			
21	11月1日	金	○	日本美術史B			
22	11月8日	金	○	日本美術史B			
23	11月15日	金	○	日本美術史B			
24	11月22日	金	○	日本美術史B			
25	11月29日	金	○	日本美術史B			
26	12月6日	金	○	日本美術史B			
27	12月13日	金	○	日本美術史B			
28	1月10日	金	○	日本美術史B			
29	1月17日	金	○	日本美術史B			
30	1月24日	金	○	日本美術史B			
31	1月31日	金	○	日本美術史B			
32	2月7日	金	○	日本美術史B			

学習目標

芸術やデザイン分野で活躍しようと思っている人たちに役立つ表現および単語に焦点を合わせて基本英会話レッスン。

予習・準備物

注意事項

評価方法

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

日本美術史A

担当教員 北 進一

受講アトリエ 【502】

4月12日(金)～9月27日(金)

9:00-10:30

授業内容

最初に法隆寺金堂釈迦三尊像や玉虫厨子、広隆寺弥勒菩薩半跏思惟像など飛鳥時代の仏教美術から始まり、奈良時代の興福寺阿修羅像や東大寺法華堂不空罽索観音像、平安時代の神護寺薬師如来像と東寺講堂諸仏、平等院鳳凰堂阿弥陀如来像、平安仏画、鎌倉時代の運慶仏などの仏教美術を通観する。その後、平安末期の信貴山縁起絵巻や鳥獣戯画、室町時代の雪舟・雪村などの水墨画を取り上げ、古代・中世の日本美術の本質を探ってゆく。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月12日	金	○	制作/英会話		色彩力	
2	4月19日	金	○	制作/英会話		色彩力	
3	5月10日	金	○	制作/英会話		色彩力	
4	5月24日	金	○	制作/英会話		色彩力	
5	5月31日	金	○	制作/英会話		色彩力	
6	6月7日	金	○	制作/英会話		色彩力	
7	6月14日	金	○	制作/英会話		色彩力	
8	6月21日	金	○	制作/英会話		色彩力	
9	6月28日	金	○	制作/英会話		色彩力	
10	7月5日	金	○	制作/英会話		色彩力	
11	7月12日	金	○	制作/英会話		色彩力	
12	7月20日	土	○				
13	9月6日	金	○	制作/英会話		科別基礎	
14	9月13日	金	○	制作/英会話		科別基礎	
15	9月20日	金	○	制作/英会話		科別基礎	
16	9月27日	金	○	制作/英会話		科別基礎	

学習目標

古代から中世までの日本美術は、東アジア文化圏の産物の一端として、そのイメージの源泉のほとんどを朝鮮半島や中国大陸に求めることができる。本講は、仏像・仏画・絵巻物・水墨画などを取り上げ、朝鮮や中国の作例と比較して、それらの造形（イメージ）の本質を具体的に追求してゆく。日本美術史を従来の様式論でおさえるのではなく、イメージの解読という新たな視点から日本文化史の中に位置づけて探求してみたい。

予習・準備物

注意事項

評価方法

2年 ビジュアルデザイン科

色彩論Ⅱ

担当教員 初谷希代香

受講アトリエ 【501】

4月10日(水)～9月25日(水)

9:00-10:30

授業内容

色の効果を活用した作品の制作（コンクール応募作品含む）

AFT色彩検定2級・UC（色のユニバーサルデザイン）級対応。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月10日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
2	4月17日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
3	5月15日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
4	5月22日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
5	5月29日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
6	6月5日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
7	6月12日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
8	6月19日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
9	6月26日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
10	7月3日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
11	7月10日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
12	7月17日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
13	9月4日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
14	9月11日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
15	9月18日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	
16	9月25日	水	○	色彩論1		デジタルIL/タイポ基礎/撮影技法	

学習目標

色彩論Ⅰの内容から、さらに色彩の知識を深めていきます。配色の応用方法と活用のしかた、UC（色のユニバーサルデザイン）など、色の捉えられ方や、調和論を活用した表現の取り組みを行います。

予習・準備物

注意事項

評価方法

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

色彩論 I

担当教員 初谷希代香

受講アトリエ 【502】

4月10日(水) ~9月25日(水)

10:40-12:10

授業内容

色の効果を活用した作品の制作（コンクール応募作品含む）

AFT色彩検定3級対応

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月10日	水	○	制作			
2	4月17日	水	○	制作			
3	5月15日	水	○	制作			
4	5月22日	水	○	制作			
5	5月29日	水	○	制作			
6	6月5日	水	○	制作			
7	6月12日	水	○	制作			
8	6月19日	水	○	制作			
9	6月26日	水	○	制作			
10	7月3日	水	○	制作			
11	7月10日	水	○	制作			
12	7月17日	水	○	制作			
13	9月4日	水	○	制作			
14	9月11日	水	○	制作			
15	9月18日	水	○	制作			
16	9月25日	水	○	制作			

学習目標

『色が見えるしくみ』、『色のとらえ方』、『色の心理的影響』、『色の組み合わせ方とそのイメージ』など、色の専門知識の基礎を学習し、色の効果を活用した作品制作をおこないます。

予習・準備物

注意事項

評価方法

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

フランス語I

担当教員 内田雅之

受講アトリエ 【501】

4月15日(月)～2月17日(月)

9:00-10:30

授業内容

前期は、挨拶や自己紹介などの簡単な会話表現から始め、そこから派生して実践的な方向へ進んでいく流れを、<ウォームアップのためのダイアログ>として学んでいきます。その過程で生じる疑問を解消する形で初歩的な文法を学んでいきます。後期は前期で学んだ一連のダイアログの習熟を常に忘れないようにしながら、テキストを使用した演習へと移行していきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	月	○	文章技法論		技法力	
2	4月22日	月	○	文章技法論		技法力	
3	5月13日	月	○	文章技法論		技法力	
4	5月20日	月	○	文章技法論		技法力	
5	5月27日	月	○	文章技法論		技法力	
6	6月3日	月	○	文章技法論		技法力	
7	6月10日	月	○	文章技法論		技法力	
8	6月17日	月	○	文章技法論		技法力	
9	6月24日	月	○	文章技法論		技法力	
10	7月1日	月	○	文章技法論		技法力	
11	7月8日	月	○	文章技法論		技法力	
12	9月9日	月	○	文章技法論		科別基礎	
13	9月23日	月	○	文章技法論		科別基礎	
14	9月30日	月	○	文章技法論		科別基礎	
15	10月7日	月	○	制作		実技カリキュラム	
16	10月21日	月	○	制作		実技カリキュラム	
17	10月28日	月	○	制作		実技カリキュラム	
18	11月11日	月	○	制作		実技カリキュラム	
19	11月18日	月	○	制作		実技カリキュラム	
20	11月25日	月	○	制作		実技カリキュラム	
21	12月2日	月	○	制作		実技カリキュラム	
22	12月9日	月	○	制作		実技カリキュラム	
23	1月20日	月	○	制作		実技カリキュラム	
24	1月27日	月	○	制作		実技カリキュラム	
25	2月3日	月	○	制作		実技カリキュラム	
26	2月10日	月	○	制作		実技カリキュラム	
27	2月17日	月	○	制作		実技カリキュラム	

学習目標

全くの初心者を対象としてフランス語の初級文法や初歩的な会話表現を学びます。講義ではCDを常に使用しながら音声に慣れつつ、コミュニケーション・ツールとしての側面を最初から意識していきます。また、関係項目のプリントなども配布しながら、文化的側面に広く触れ、ともに考える機会となることを心掛けていきます。

予習・準備物

注意事項

評価方法

2年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

フランス語II

担当教員 内田雅之

受講アトリエ 【701】

4月15日(月)～2月17日(月)

10:40-12:10

授業内容

前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	月	○	制作		実技カリキュラム	
2	4月22日	月	○	制作		実技カリキュラム	
3	5月13日	月	○	制作		実技カリキュラム	
4	5月20日	月	○	制作		実技カリキュラム	
5	5月27日	月	○	制作		実技カリキュラム	
6	6月3日	月	○	制作		実技カリキュラム	
7	6月10日	月	○	制作		実技カリキュラム	
8	6月17日	月	○	制作		実技カリキュラム	
9	6月24日	月	○	制作		実技カリキュラム	
10	7月1日	月	○	制作		実技カリキュラム	
11	7月8日	月	○	制作		実技カリキュラム	
12	9月9日	月	○	制作		実技カリキュラム	
13	9月23日	月	○	制作		実技カリキュラム	
14	9月30日	月	○	制作		実技カリキュラム	
15	10月7日	月	○	制作		実技カリキュラム	
16	10月21日	月	○	制作		実技カリキュラム	
17	10月28日	月	○	制作		実技カリキュラム	
18	11月11日	月	○	制作		実技カリキュラム	
19	11月18日	月	○	制作		実技カリキュラム	
20	11月25日	月	○	制作		実技カリキュラム	
21	12月2日	月	○	制作		実技カリキュラム	
22	12月9日	月	○	制作		実技カリキュラム	
23	1月20日	月	○	制作		実技カリキュラム	
24	1月27日	月	○	制作		実技カリキュラム	
25	2月3日	月	○	制作		実技カリキュラム	
26	2月10日	月	○	制作		実技カリキュラム	
27	2月17日	月	○	制作		実技カリキュラム	

学習目標

フランス語1の修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。

予習・準備物

注意事項

評価方法

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

文章技法論

担当教員 太田克彦

受講アトリエ 【502】

4月15日(月)～9月30日(月)

10:40-12:10

授業内容

伝えるための道具として言葉を使う前に、しりとりや回文、川柳といったナンセンスやリズムによる言葉遊びから始める。与えられたキーワードで絵を描いたあとから作文するという方法により、想像力を広げていく。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	月	○			技法力	
2	4月22日	月	○			技法力	
3	5月13日	月	○			技法力	
4	5月20日	月	○			技法力	
5	5月27日	月	○			技法力	
6	6月3日	月	○			技法力	
7	6月10日	月	○			技法力	
8	6月17日	月	○			技法力	
9	6月24日	月	○			技法力	
10	7月1日	月	○			技法力	
11	7月8日	月	○			技法力	
12・13	7月19日	金	○	1限	2限	色彩力	
14	9月9日	月	○			科別基礎	
15	9月23日	月	○			科別基礎	
16	9月30日	月	○			科別基礎	

学習目標

文章を書くことに対する苦手意識をまず払拭し、言葉を連ねる作業の楽しさを実感する。このトレーニングにより、言葉が美術制作をするときに、色や形や空間を構成するうえでより効果を上げていく役割を果たせるようにする。

予習・準備物

注意事項

評価方法

大学院進学講座

担当教員 蔣

受講アトリエ [501]

4/13(土)~2/3(月)

13:00-16:00

授業内容

前学期は大学院進学における情報説明、事前準備などをメインにする。

後学期は主に面接指導。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	土		日本語	○	オリエンテーション 大学院入試について	
2	5月18日	土			○	大学院入試における情報収集、事前準備など	
3	5月25日	土		日本語	○	ポートフォリオについて	
4	7月13日	土		日本語	○	面接マナー実践	
5	9月7日	土		日本語	○	大学院入試試験日程、各自進捗確認	
6	9月28日	土		日本語	○	面接マナー実践	
7	10月18日	金			○	個別模擬面接	
8	11月8日	金			○	個別模擬面接	
9	12月6日	金			○	グループ模擬面接	
10	1月11日	土			○	グループ模擬面接	
11	1月31日	金			○	個別模擬面接	
12	2月3日	月			○	進路説明会	大学院進学不合格者対象

学習目標

美術大学院への進学を目指す内容です。大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。

予習・準備物

自己管理用の年間スケジュール帳、筆記用具

注意事項

計画を立てて、早めに試験準備に臨んでほしい

評価方法

授業態度による採点